



INAKEN PRESS

稲津けんご通信



【編集・発行】稲津けんご後援会 【編集責任者】稲津 憲護
【お問い合わせ】〒183-0041 東京都府中市北山町2-26-15
【電話】042-806-9777 【Eメール】inazu.kengo@gmail.com
【稲津けんご公式サイト】<https://inaken.gr.jp>



【稲津けんご3月議会後の談話】


長年、私が制定を訴えていた「公契約条例」が本定例会で全会一致で可決されました。この条例により、労働環境が整備されるだけでなく、地域経済が活性化するものと見込まれます。公契約審議会運営費が令和8年度予算に組み込まれており、市民の生活や福祉に寄与する内容の条例に発展することを期待しています。

衆議院選挙を振り返る

高市早苗首相による強引な衆議院選挙が2月に実施されました。首相の人気が高いうちにという考えが当たり、自民党の圧勝となりましたが、あまりに急過ぎたゆえに様々な不満が起こった選挙でした。多くの方を振り回すことで、民主主義的な選挙にはならなかったと稲津けんごは考えています。

立憲民主党は公明党と手を組み「中道改革連合」として、時に本来の政策をねじ曲げながら選挙戦に挑みました。しかし、このことについて自治体議員に事前説明はなく、有権者にとっても判断に困るものとなりました。惨敗という結果は、なるべくしてなったものと言わざるを得ません。

【全国で相次いだ短期決戦トラブル】



日本海側地域は大雪に見舞われました。ポスター掲示板や投票所の設置、演説も苦労したとの話がありました。



投票所や職員の確保のため、市民マラソン大会や国際スキー大会を中止とした自治体もあったそうです。



受験シーズンも重なり、受験生や学校、候補者なども対応に追われました。配慮を求める声は多かったです。




投票用紙の交付ミスや投票箱間違ひなどが各地で相次ぎました。悪質な二重投票で検査された事例も。

立憲民主党 稲津けんごの決意

2025年秋号にて、党執行部に対し自治体議員から「トップダウンが過ぎる」「地方軽視」といった厳しい意見があったとお伝えしましたが、今回の衆議院選挙でも状況は同じでした。地方の実情を分かれば、自治体議員の多くが中道改革連合への安易な合流や協力などできないと気づくものです。統一地方選は立憲・公明とも、独自候補を擁立します。

世の中が混沌とする中でも、自分の軸はブレさせません。これからも「正しい政治を堂々と」進めていき、「地道がイチバン！」と胸を張って言える活動を続けてまいります。




危険度が極めて高く「トイレのないマンション」とも呼ばれる原子力発電所は必要ありません。



辺野古移設問題を含め、沖縄県の意向を汲もうとしない政府に反対。真の平和を取り戻したいです。



自衛隊は集団的自衛権や安保法制ではなく、災害発生時の救助救援の柱になるべきです。



改正と称して憲法第9条に手を付けることを許しません。9条あつての平和を世界に発信したいです。

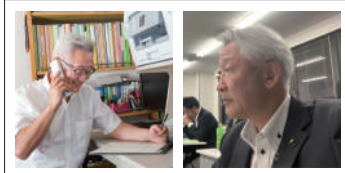
稲津けんご個人ポスター 各地で展開

2026年2月より、市内にて「稲津けんご個人ポスター」を掲出しています。一般的に想像しやすい「政治家の個人ポスター」とは一線を画すデザインです。現在、稲津が特に大切にしているスローガン「地道がイチバン！」を表せたと自負しています。皆様からの感想をお聴かせいただくと幸いです。

A1(594mm×841mm)とA2(420mm×594mm)の2サイズあり、いずれも掲出期間は2026年10月頃となっています。もし、市内で「貼ってもいいよ」という方がいらっしゃいましたら、稲津けんご後援会までご連絡ください。貼る際には、外壁や柵などを傷めないよう、丁寧に対応いたします。

【ポスターと各写真ご紹介】

事務所にて▶
電話対応



◀所属組合の
会議に参加

府中駅前▶
平和アピール



◀西原町で
見回り活動



春夏に増加 食中毒に注意

2026年1月、府中市内のスーパーで購入した魚を食べた方が腹痛を訴えました。検査の結果、寄生虫「アニサキス」による食中毒だったと判明しました。アニサキスは十分な加熱や冷凍で、力を失うのですが、天然物の魚を生で食べた場合には、食中毒の危険性が一気に高まります。

魚や肉、卵、弁当、サンドイッチなど、様々な食品が食中毒の原因になると言われています。誤った保存や管理方法が食中毒につながることもあります。

これから気温や湿度が高くなってきます。また、行楽シーズンにもなります。食中毒を起こさないよう、気を引き締めていきたいものです。

【今どきならではの食中毒関連情報】



養殖魚は冷凍または加熱済みの餌で育つため、アニサキスのリスクはゼロでないものの低いとされています。



まな板や包丁は、用途ごとに使い分けたり、使い終わったら洗って除菌・消毒したりすることが大切です。



生肉を水で洗うのは絶対にやめましょう。食中毒菌が水しぶきで広がり、二次汚染を引き起こすことも。



近年「肉の低温調理」が人気ですが、火の通りが十分でないものは食べないようにしましょう。



稲津けんご 略歴

1968年北山町生まれ・西原町在住
北山保育所、府中七小、和光中、都立狹江高卒。
米・サウスアラバマ大学学士号、米・ピッツバーグ大学院経済開発学修士号取得。
1999年から2011年まで3期12年、府中市議会議員として活動。父の介護や民間勤務を経て2015年の市議選で返り咲き。現在6期目。

『稲津けんご通信 (INAKEN PRESS)』は
地域活動や政党活動など
議会以外での活動を紹介しています。

次回の通信は2026年10月発行予定です。
(2026年夏は市政レポートを発行します)

稲津けんご後援会 入会のご案内

本会は、稲津けんごの政治活動を支援し、府中市民対象の生活相談などを行っています。是非ともご支援を賜りますよう、お願いいたします。

稲津けんご後援会 (イナツケンゴコウエンカイ)

【ゆうちょ銀行】

振替口座:00120-4-586638

【多摩信用金庫 北山支店】

店番号:040 口座番号:0221857

会費:いずれも一口1,000円